

西北の課題【確かな学力の育成と心の教育の充実】の解決に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現と道徳教育や生徒指導の一層の充実を



《令和5年度 小・中学校校内研究計画について》

◇ 日頃から西北教育事務所の事業推進にあたり、多大な御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございます。校内研究計画書から、各校の研究教科等の状況をお知らせします。

(p.5以降に研究主題等の一覧を掲載)

【小学校の研究教科等】

	国語	算数	複数教科等	全教科等	全教科	道徳科	その他	合計
4年度学校数	2	10	3	6	4	6	1 (図画工作)	32
5年度学校数	1	6	2	13	6	3	1 (図画工作)	32

【中学校の研究教科等】

	全教科等	全教科	その他	合計
4年度学校数	14	3	1 (総合的な学習の時間)	18
5年度学校数	6	11	1 (総合的な学習の時間)	18

◇ 小学校の研究教科等は、昨年度に比べ、国語、算数等、特定の研究教科を研究対象とする学校が減少し、全教科・全領域等または、複数の教科等を研究対象とする学校が増えました。

◇ 中学校においては、全教科及び全教科等を通して研究に取り組む学校が17校となっていますが、全領域等に広げず教科に絞って研究する学校が増えました。

◇ 各校の研究主題からは、小・中学校共通して「主体的」「対話的」、小学校では「共に学ぶ」「学び合い」等の文言が多く見られ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を意識して取り組もうとしていることが見受けられます。また、各校で積極的に活用されているタブレット端末ですが、今後は、学習において有効活用を図るために、サブテーマに「ICTの効果的な活用」について取り上げている学校が増えました。

◇ 研究を進めるにあたっては、校内研究計画の内容を全教職員が共有し、目指す児童生徒像をできるだけ具体的な姿として描き、これを基に授業改善に取り組むことが大切です。また、授業改善につながる校内研究については、教員一人一人の研修や教員組織としての研究が、日常化されるよう研究体制の充実を図ることも必要です。西北の課題である「確かな学力の育成」に向け、校内研究の充実を図るようよろしくお願いします。
 (教育課長 大場 康之)

《授業改善について》

令和5年度から、計画訪問を前期・後期の2回実施することとなりました。前期の計画訪問では、「校長等の話し合い」の中で、「西北」の課題を解決するために、特に推進すべき事項について説明していますが、先生方に直接説明する機会がございません。そこで、今回の西北教育事務所便りでは、「西北の教育」15ページで示しています「1 確かな学力を身に付ける授業づくり」に係る「(2) 目指す資質・能力を明確にした主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善」について、この紙面にて説明します。

1 確かな学力を身に付ける授業づくり

(2) 目指す資質・能力を明確にした主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善

主体的・対話的で深い学びを実現するためには、本時のねらいを明確にするとともに、解決の見通しをもたせ、児童生徒の協働的な学習活動とその時間や単元の学習を児童生徒自身が振り返る活動に取り組みせ、次の学習や生活に役立つようにし、「分かる」喜びと「できる」達成感・成就感を味わわせる工夫が大切です。その際、目指す資質・能力を明確にし、言語活動を多様に取り入れ、思考力、判断力、表現力等を養う場や学習内容の定着を図る場を設定するとともに、身に付けた知識や技能を活用する学習活動を充実することも大切です。

特に目指す資質・能力に関しては、単元や題材のまとまりの中で明確にします。単元や題材を俯瞰して「ねらい」や「評価」を検討することは、主体的・対話的で深い学びを実現するためには必要なことです。各校においては、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通したうえで、一単位の授業で児童生徒にどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしなが授業の充実を図ることが大切です。

2 学習場面における指導のポイント

授業での学習場面における主体的・対話的で深い学びの実現のための指導のポイントを「学びの質を高める授業スタンダード」として示しています。

下線太字は、授業づくりで特に大事にしてほしいところです。

学びの質を高める授業スタンダード

単元や題材のまとまりの中で、目指す資質・能力を明確にした授業づくりを行うことが大切です。

1 導入の場面(課題把握)

◆子どもの問いや思い・願いを引き出し、課題意識をもたせる過程

(1) 教材提示

【「問い」や「思い・願い」を引き出すために】

- ・具体物の提示(写真、図、動画、絵、複数の資料の比較 など)
- ・既習事項の確認等(ノート、ワークシート、掲示物 など)
- ・実演等(教師による実験、子ども自身が試す活動 など)

・対話(生活経験や既習事項の想起 など)

(2) 課題の把握

【「何を学習するか」「何ができればよいか」を明確にするために】

・子どもの気付きや発言などをつないで焦点化し、課題(めあて)を設定する。

課題の条件

- ・子どもの実態に即している
- ・子どもにとって身近で分かりやすい
- ・学習への興味・関心を高めることができる
- ・適度な難易度で解決の見通しをもてる
- ・多様な考え方や解決法などを引き出すことができる
- ・子どもにとって、追究・解決する価値がある

2 展開の場面(追究・解決)

◆子ども一人一人の学びを見取って適切に支援し、課題の解決につなげる過程

(1) 計画・方向付け・見通し

【追究・解決への手掛かりを見付けさせるために】

- ・課題と生活経験や既習事項を関連付けて「何をどのように追究・解決するのか」の見通しをもたせる。
- ・結果の見通しをもたせる。(答えの予想、仮説を立てる など)
- ・方法の見通しをもたせる。(既習事項の活用、解決の順序 など)

(2) 個での追究・解決

【自分の思いや考えをもてるようにするために】

- ・子どもが「何をどのように考えているのか」を見取り、個に応じた支援をする。
- ・模範例、他の作品を紹介し、追究・解決の手立てとする。
- ・机間指導をし、その後の展開を構想する。(誰の思いや考えをどのような順序で取り上げるか)

(3) ペアやグループ、学級全体での話し合い

【思いや考えを広げ深めることができるようにするために】

- ・友達との交流を通して、個々の考えを共有させる。
- ・思考過程を可視化し、捉えやすくする。(チョークの色、囲み、矢印 など)
- ・子どもたちの考えを基に話し合いをコーディネートし、ねらいに迫る。
(話し合いの論点の明確化、子どもの考えを引き出しつなげる支援、考えを深めるための問いや揺さぶりなどの働きかけ)

3 終末の場面(課題の解決・振り返り)

◆子ども一人一人に振り返りを促し、新たな学びにつなげる過程

(1) まとめと振り返り

【「何を学習したか」「何ができるようになったか」を明確にするために】

- ・「何を学習したか」をまとめる。
- ・自分でまとめる時間を確保する。
- ・**課題とまとめの整合性をとる。**
- ・学習した知識・技能を活用する場を設定する。
- ・学習内容に関連した日常生活の事例を紹介する。
- ・「どのように学習してきたか」を振り返る。

(板書やノートを基にした確認、ペアやグループでの話し合い、自己評価や相互評価の活用など)

(2) 新たな学び

【学び続ける態度を育てるために】

- ・次時につなげる気付きや疑問、新たな問いや思い、願いをもたせ新たな学びへつなげる。
- ・学習したことを活用できる身近な地域社会の事象や事例を紹介し、学び続ける興味・関心を高める。

《令和5年度学習状況調査について》

実施日:令和5年8月30日(水)【小・中教科調査】

令和5年8月30日(水)～9月8日(金)【小・中質問紙調査】

対象:小5、中2

実施期間:国語、社会、算数・数学、理科、英語(中学校のみ)

その他:【小・中質問紙調査】については、文部科学省CBTシステム(MEXCBT)により実施します。実施期間内に忘れず実施するようお願いします。

■□■□■□ 西北教育事務所教育課員の内線及びメールアドレス □■□■□■

教育課長 大場 康之

内線295 yasuyuki_oba@pref.aomori.lg.jp

主任指導主事 岩谷 博喜

内線296 hiroki_iwaya@pref.aomori.lg.jp

指導主事 菊地 和恵

内線296 kazue_kikuchi@pref.aomori.lg.jp

指導主事 原 倫子

内線297 tomoko_hara1@pref.aomori.lg.jp

指導主事 須藤 崇

内線297 takashi_suto1@pref.aomori.lg.jp

指導主事 廣森 吉明

内線297 yoshiaki_hiromori@pref.aomori.lg.jp

主任社会教育主事 今井 一仁

内線296 kazuhito_imai@pref.aomori.lg.jp

指導主事 奈良 学

内線296 manabu_nara@pref.aomori.lg.jp

令和5年度西北教育事務所管内小・中学校 校内研究主題一覧

No	学校略称	教科・領域等	研究主題～サブテーマ～
1	五所川原小学校	算数科	自分の考えを表現し、伝え合う子どもの育成 ～主体的・対話的学びを通して～
2	南小学校	道徳科	自ら考え、心豊かに学び合う児童の育成 ～「対話」を通して、考えを深める道徳科の授業の工夫～
3	栄小学校	全教科・全領域	子どもの主体的に学ぶ力を育むための指導法の研究 ～語彙力・読解力を高める授業づくりを通して～
4	松島小学校	道徳科	「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための指導法の研究」 ～「考え、議論する」学習活動を充実させるための工夫を通して～
5	中央小学校	全教科・全領域	共に学ぶ子供の育成 ～見方・考え方を働かせ、比較・検討しながらの学び合う授業づくりを通して～
6	三輪小学校	全教科・全領域	共に学び合い、確かな学力を身に付けた子供を育てるための指導法の研究 ～考えが深まる話し合いを実践するための指導の工夫・改善～
7	三好小学校	全教科	主体的に問題解決に取り組み、進んで伝え合い、ともに学び合う喜びのある授業の創造 ～確かに読み取り、理解し、表現する「読み解く力」の育成を目指して～
8	東峰小学校	総合的な学習の時間・生活科	学び合い、自己の考えを深める児童を育成するための研究 ～探究的な学習過程による地域学習を通して～
9	いずみ小学校	全教科・全領域	「主体的に課題に取り組み、根拠をもって考えを伝え合う子」を育てる指導法の研究 ～意欲的に問題を解決しようとする力を育てる手立ての工夫～
10	金木小学校	全教科	主体的に学習に取り組む力を育てる授業づくりの研究 ～児童の実態に応じた伝え合う活動を通して～
11	市浦小学校	全教科・全領域	自ら考え、学び合い、考えを深める児童の育成 ～「見方・考え方」を働かせる授業実践を通して～
12	向陽小学校	全教科・全領域	意欲をもって、互いに学び合う子どもの育成 ～話し合い活動に重点を置いた学習活動を通して～
13	穂波小学校	算数科	主体的に学習に取り組む子供の育成 ～算数科における「わかる・できる喜びのある授業」の追求～
14	瑞穂小学校	全教科	文章を読み、内容を正確に読み取る子を育成する指導法の研究 ～6つのリーディングスキルに着目して～
15	森田小学校	全教科・全領域	読んで考える児童を育成するための授業づくり研究 ～授業のユニバーサルデザインの視点を通して～
16	柏小学校	図画工作科	自分の思いを豊かに表現できる子どもの育成 ～学びを生かし、思いや考えを伝え合う造形活動を通して～
17	稲垣小学校	算数科	主体的に学習に取り組み、考えを伝え合い深め合う子どもを育てる授業づくりの研究
18	車力小学校	全教科・全領域	自分事として学ぶ子どもの育成 ～対話や議論を促す授業づくりを通して～
19	西海小学校	全教科・全領域	自ら学び、粘り強く学び合う子どもを育む指導法の研究 ～主体的・対話的な学びにつなげる授業づくりを通して～
20	舞戸小学校	全教科・全領域	目を輝かせて主体的に学ぶ子どもの育成 ～学びを実感できる授業の工夫～
21	修道小学校	道徳科	自己を見つめ、仲間と共によりよく生きようとする児童の育成 ～多面的・多角的に考え、道徳的価値にせまるための工夫～
22	深浦小学校	国語科	自分の考えをもち、共に学び合う児童の育成 ～国語科における読む力を育むための対話的活動を通して～
23	いわさき小学校	算数科	学び合いにより、筋道を立てて考え、表現する児童を育成するための指導方法の工夫 ～算数科における学びの場の工夫を通して～
24	小阿弥小学校	算数科	ともに学び、すすんで自己を表現する子どもを育む指導法の研究 ～算数科におけるかく・話す力を育てる活動を通して～
25	板柳北小学校	全教科・全領域	主体的に学ぶ子どもを育てる指導方法の工夫 ～学習効果を高めるICT機器の活用～
26	板柳南小学校	全教科・全領域	主体的に学び伝え合う子どもを育てるための場の在り方についての研究 ～ICTの効果的な活用を通して～
27	板柳東小学校	算数科	確かな学力を育成するための授業のユニバーサルデザイン化による授業づくりの研究 ～ユニバーサルデザインの視点を生かした算数科の授業づくりを通して～
28	鶴田小学校	道徳科・全教科	「共に考え 学び合う児童」の育成Ⅱ ～ICTを常時活用した個別最適で協働的な学びの授業づくりを通して～
29	武田小学校	全教科	意欲的に考えを伝え合い、たがいに学び合う子に育てるための指導法についての研究
30	薄市小学校	全教科	コミュニケーションを図りながら、主体的に課題解決に取り組む児童の育成
31	中里小学校	全教科	ICT機器を活用した意見交流を通して、自分の考えを深める子供の育成
32	小泊小学校	全教科・全領域	みんなと学び合い、自分の学びを深める子供の育成 ～学びを深める授業改善を通して～

令和5年度西北教育事務所管内小・中学校 校内研究主題一覧

No	学校略称	教科・領域等	研究主題～サブテーマ～
1	五所川原第一中学校	全教科	主体的に粘り強く学習に取り組む生徒の育成 ～各教科の特質に応じた「見方・考え方」を鍛える授業実践を通して～
2	五所川原第三中学校	全教科・全領域	「生徒の自己指導能力を育むための指導法の研究」 ～生徒指導の実践上の視点をふまえたグループ活動を通して～
3	五所川原第二中学校	全教科	学びに向かい、学びを深めるための授業改善 ～ICTを活用した学習活動を通して～
4	五所川原第四中学校	全教科・全領域	生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善 ～授業と家庭学習の一体化・サイクル化を図るICTの効果的な活用を通して～
5	金 木 中 学 校	全教科	主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～1人1台端末の効果的な活用を通して～
6	市 浦 中 学 校	全教科・全領域	自分の考えを持ち、分かりやすく表現できる生徒の育成 ～思いや考えを伝え合う活動の工夫を通して～
7	木 造 中 学 校	全教科	知識・技能を活用して問題解決ができる生徒の育成 ～効果的な活用場面を単元に位置付けた学習活動を通して～
8	森 田 中 学 校	全教科	「わかる・できる」喜びを実感させる授業づくりの研究 ～自分の成長に生かされる振り返りの在り方について～
9	柏 中 学 校	全教科・全領域	考えを伝え合い、広げ深める生徒の育成 ～対話活動を充実させる指導の工夫を通して～
10	稲 垣 中 学 校	総合的な学習の時間	「主体的、対話的で深い学び」を具現化する探究的な学習の研究 ～『稲垣KOERU学習』の指導の工夫を通して～
11	車 力 中 学 校	全教科	主体的・意欲的に学習する生徒の育成 ～ICTの活用による主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を通して～
12	鱒ヶ沢中学校	全教科・全領域	主体的に考え行動する生徒の育成 ～発言を「つなげる」(広げる・深める)ための指導方法の研究～
13	深 浦 中 学 校	全教科	主体的に学び、確かな学力を身につける生徒の育成 ～思考力・判断力・表現力の育成を目指して～
14	大 戸 瀬 中 学 校	全教科	自分の思いや考えを積極的に伝え合い、学びを深めることができる生徒 ～言語活動の充実を通して～
15	板 柳 中 学 校	全教科	主体的に学ぶ生徒の育成 ～学習意欲を高める授業づくりを通して～
16	鶴 田 中 学 校	全教科・全領域	「主体的に学び、確かな学力を身に付けた生徒の育成」 ～単元(題材)を通じた課題と深い学びを支える振り返り活動の工夫を通して～
17	中 里 中 学 校	全教科	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「分かる、できる、楽しい授業」の研究 ～学び合う活動と振り返りを重視した授業改善を通して～
18	小 泊 中 学 校	全教科	自ら学び、進んで課題の解決に取り組む生徒を育成するための指導方法の研究 ～学習意欲が高まるような、学び合い活動の工夫を通して～